



盛岡市プレスリリース

～みどり・にぎわい・なつかしさ 私のみち盛岡をみがこう～

令和3年10月21日

都市整備部 公園みどり課

市政記者クラブ加盟社 各位

木伏緑地 盛岡発全国に誇る公園へ ～2021年度グッドデザイン賞受賞 ベスト100に選出～

令和3年10月20日、公益財団法人日本デザイン振興会主催のグッドデザイン・ベスト100に「木伏-water neighborhood-【盛岡市木伏緑地】」が選出されましたのでお知らせします。
なお今年度は、過去最多の5,835件の審査対象からベスト100に選ばれたものです。

記

1. 概要

- (1) 受賞対象名 [公園 木伏 - water neighborhood - 【盛岡市木伏緑地】]
- (2) 事業主体名 ゼロイチキユウ合同会社
- (3) 分類 ランドスケープ, 土木・構造物
- (4) 受賞企業 ゼロイチキユウ合同会社
- (5) プロデューサー ゼロイチキユウ合同会社 代表社員 猪原勇輝
- (6) ディレクター 株式会社ビルスタジオ 代表取締役 塩田大成
- (7) デザイナー 株式会社ビルスタジオ 代表取締役 塩田大成

2. 評価 (グッドデザイン賞ホームページより引用)

盛岡駅からほど近い、北上川沿川の細長い公園を使った、Park-PFIによる公民連携プロジェクトの好例である。補助金に頼らない民設民営のこのプロジェクトは、あまり使われていなかった公園という公共空間を、日常的に市民や観光客が訪れる場へと転換し、北上川という地域資源の価値を再編集し、盛岡の魅力発信に大きく貢献している。コンテナを使って建築投資を最小限に抑えつつ、北上川と一体となった外部空間で過ごす豊かさを地域住民が改めて実感することで、シビックプライドを醸成する機会にもなっている。入居するテナントも全てが地元資本の店舗である。地元が投資し、地元の地域資源を使い倒し、地元でお金を循環させる、これからの都市を支える公民連携事業の手本となる事例だといえよう。

3. その他

その他受賞対象については、ホームページ (<https://www.g-mark.org/award/>) にて、御覧いただけますので併せて御確認ください。

【担当】

盛岡市都市整備部公園みどり課
担当 宮田 大陸
TEL : 019-601-2813


GOOD DESIGN AWARD
2021
[年度を選択](#)
[特別賞を選択](#)
[詳細検索を表示](#)
GOOD DESIGN BEST 100 | グッドデザイン・ベスト100

[ツイート](#)

受賞対象名	公園 [木伏 - water neighborhood - 【盛岡市木伏緑地】]
事業主体名	ゼロイチキュー合同会社
分類	ランドスケープ、土木・構造物
受賞企業	ゼロイチキュー合同会社 (岩手県)
受賞番号	21G141321
受賞概要	2021年度グッドデザイン賞受賞概要

受賞対象の概要 ※掲載している情報は、受賞当時の情報のため、現在は異なる場合があります。

概要 盛岡駅前でありながら敷地徒歩圏の住民、駅利用の通勤者という日常利用者を対象にし、隣接エリアへ波及効果を狙った公園再生プロジェクト。民設民営のPark-PFI制度の先進事例となることも求められた。このエリアでこの公園があるからこそできる豊かな生活を実現することで、趣向を持って近くに住むことのメリットを示している。

デザインのポイント

- 1.有休資産であった公園にて民設民営のPark-PFI制度を用いた事業であること
- 2.公園であることから、芝生スペースの確保と店舗間ウッドデッキにて居場所を多様に設けたこと

3.敷地がもともと北上川での材木水運の拠点だった歴史を解釈し、コンテナ形式の建物にしたこと

プロデューサー	ゼロイチキユウ合同会社 代表社員 猪原勇輝
ディレクター	株式会社ビルスタジオ 代表取締役 塩田大成
デザイナー	株式会社ビルスタジオ 代表取締役 塩田大成



株式会社ビルスタジオ 代表取締役 塩田大成

詳細情報 <http://www.kippushi.jp>

開業 2019年9月10日

設置場所 岩手県盛岡市盛岡駅前通11-11

受賞対象の詳細

背景

盛岡駅東口から北上川までのエリアはテナント料が高く、範囲も狭いため県内資本店舗が出店する余地がない。川を越えると家賃相場が1/3以下になるが、例に漏れず空き店舗が目立つ状況である。その北上川に商業的価値のある駅側で接する位置に当敷地である木伏緑地があるが、地元の人々でもほぼ認知も利用もない状況だった。調査をすると県最大の駅付近とはいえ、徒歩圏には生活者が十分に居ること、また現地では敷地に隣接する開放感のある河川敷の気持ち良さに着目し、「water neighborhood-水辺境界の生活者になろう」という日常利用者に向けた価値づくりに拘った事業・店舗・建物・ランドスケープづくりを行うことにし、衰退中の川向こうへのエリア波及効果も図った。また、全国でも事例のほぼない民設民営によるPark-PFI事業ということで、盛岡市ともその進め方について協議を重ね、以後の良事例となることも求められていた。

経緯とその成果

敷地の価値は「北上川の河川敷の気持ち良さにある」との事業メンバーとの共感のもと「ここでどれだけ気持ちよく（正當的に）ビールを飲めるようにするか」を追求することを判断基準とした。そのために、キャンプ、ジョギング、BBQ、シャワー、芝生、木陰、美味しいご飯、ウッドデッキ、アウトドアキッチンなどなど、のアクティビティや仕立てを設定していき、そのシーンを実現させるようにリーシング、建物内外の設計、河川局との協議も平行して行った。その追求に共感した、個性と向上心を併せ持つ若手経営者によって10店があつまり、材木水運の拠点だった敷地の歴史を踏まえ、自社開発の法対応コンテナを密度感をもって散りばめ、その間を多様な居場所となるようウッドデッキで繋げ、残りは既存樹木の木陰を活かした芝生広場とした。OPENから約2年経った現在、半屋外、屋外、河川敷を上手に利用した日常生活者が思い思いに過ごせる場所となっている。

仕様

敷地面積：約4,000平米、建築面積＝延床面積：約330平米（新設部分）、鉄骨造平屋建て（新設部分）。既存地下駐輪場あり。

どこで購入できるか、どこで見られるか 岩手県盛岡市盛岡駅前通11-11 木伏緑地内
[公式ホームページ](#)

審査委員の評価

盛岡駅からほど近い、北上川沿川の細長い公園を使った、Park-PFIによる公民連携プロジェクトの好例である。補助金に頼らない民設民営のこのプロジェクトは、あまり使われていなかった公園という公共空間を、日常的に市民や観光客が訪れる場へと転換し、北上川という地域資源の価値を再編集し、盛岡の魅力発信に大きく貢献している。コンテナを使って建築投資を最小限に抑えつつ、北上川と一体となった外部空間で過ごす豊かさを地域住民が改めて実感することで、シビックプライドを醸成する機会にもなっている。入居するテナントも全てが地元資本の店舗である。地元が投資し、地域の地域資源を使い倒し、地元でお金を循環させる、これからの都市を支える公民連携事業の手本となる事例だといえよう。

担当審査委員 | [伊藤 香織](#) [五十嵐 太郎](#) [西村 浩](#) [平賀 達也](#)